

広報 人と自然が織りなす 心豊かな協働の村

2012
No. 539

たのはた

2

ごうやつて丸めるのよ

2月19日、たのはた児童館で行われたミズキ団子づくり。
園児たちは、おじいちゃんおばあちゃんに教わりながら、
一生懸命に団子を丸めました。写真は、藤島琉唯くん(5)
と祖母桃子さん(52) 甲地。(関連記事10頁)

復興へのご支援に
心から感謝します



私たちは 3月11日を忘れない
伝えたい 伝えなければならない

私の津波体験 ⑩

「自分は大丈夫」過信がまねいた避難所生活

3月11日、用事があつて大槌町に向かう途中の山田病院付近を走っているときに、車がものすごい揺れに襲われました。道路は波のように大きくうねり、前の車はバウンドしているよう。車を走らせることができず、揺れが収まるまでラジオを聞きながら待ちました。ラジオから流れる大津波警報の知らせ。津波がくるとは思ったけど、自分は大丈夫、用事を済ませたいという気持ちがあり、そのまま大槌に向かいました。

大槌町内に入ると町内は車で大渋滞。これでは用事を済ませることができないので役場付近で車をウターンさせ、仕方なく宮古方面に戻ることにしました。途中、消防団員に止められ、「高台の中央公民館に避難するように」と言われました。正直、何が起きているのか分かりませんが、前の車についていくことにしました。

公民館に向かう道路は、大渋滞でなかなか進みません。何とか大槌小

付近まで進んだとき、何気なく後ろを振り返ると、目に飛び込んできたのは崖崩れ。崖崩れに見えたそれが、実は真っ黒い津波でした。

前の車の人は車から降り、おばあさんを背負って坂を上り始めました。私も車を置いて逃げようとしてドアを開けると、足元は既に水。「ガシャツ」という大きな音で振り返ると、私の車のすぐ後ろに、迫ってきたがれきが大きな壁を作りました。

おばあさんは「自分は死んでもいいからお前たちはにげろ」と家族を逃がそうとしています。私はそのおばあさんの背中を押し、一緒に公民館に避難。途中見た大槌小に押し寄せた津波。グラウンドはまるで洗濯機のようにグルグル回り、車の中で助けを叫ぶ人たちのもろもろのみ込んでいきました。

夕方になり火災が発生。爆発音が何度も響き渡り、町全体が燃えているようでした。一時は公民館が火に囲まれることも。通信手段がないた

め、役場職員や消防団員は山道を走り回り、情報を伝えていました。私も連絡手段がないため家族に連絡できず、家族も私の安否を分からない状態。夫と息子は、宮古市の避難所をまわり、浪板海岸付近まで捜索したそうです。私は13日、避難者名簿に名前を記入。名簿は15日の新聞に掲載されました。新聞で名前を見つけた家族は私の無事を確認し、16日に迎えに来てくれました。

私は、宮古市の出身。実は小学生の時に津波を見ています。年寄りから津波の話も聞いていました。それなのに、何の根拠もない「自分は大丈夫」という過信と軽率な行動が、今回のことをまねいてしまいました。今さらながら、地震が来たら高台に避難することの大切さを実感しています。今回の震災は、映像がたくさん残っていますが、見るのはつらいかもしれないけど、これを生かさないといけないと思います。この記憶を絶対に風化させないために。



④3月15日、大槌小グラウンドには津波にのまれた車が無残な姿で残る
⑤5月31日の大槌町。右上の白い建物が上山さんが避難した中央公民館 (写真提供：大槌町)



山野畑 明美さん (52)



①国道45号での分列行進 ②災害物故者に黙とう ③統監の服装点検を受ける女性消防協力隊 ④団員の士気を高めるラッパ隊

今ここに集う
郷土守る精鋭
村消防団消防出初め式

村消防団(富山保幸団長)の消防出初め式は1月15日、田野畑中を主会場に開催されました。身にしみる寒風吹きすさぶ中、団員と女性消防協力隊の160人が整列。防災意識の心を一つにしました。

富山団長は「大震災で消防団も被災。志し半ばで犠牲になってしまった4人の団員、1人の女性消防協力隊員の意志を受け継ぎ、村の防災活動に当たろう」と訓示。統監の上机莞治村長は「大震災での消防団は、自ら被災しながらも強い使命感を持ち、避難誘導や救助、捜索など献身的に活動。さらに高まる期待に応えるため、英知を結集し、消防精神の高揚と団結を図ろう」と地域防災力のさらなる充実を訴えました。

統監による服装や機械器具点検の後は、菅窪地区の国道45号に移動して分列行進。ラッパ隊の吹奏する行進曲に合わせ、一糸乱れぬ威風堂々とした行進を見せ、火消しの心意気を示していました。



防潮堤は津波を完全に防ぐことはできない (津波で破壊された明戸浜の防潮堤)

2月11日(土)
津波防災対策
講演会を開催します

「津波とその被害の特性」と題し、津波防災対策講演会を開催します。多数の参加をお願いします。

◆日時：2月11日(土)
午後3時～4時30分

◆場所：アズビイホール

◆講師：藤間功司氏(防衛大学校 システム工学群建設環境工学科 教授・村災害復興計画策定委員)

◆入場料：無料

◆問い合わせ先：復興対策室 (☎34-2111 内線67)

2月14日(火)から3月15日(木)まで 納税申告相談を実施

■村県民税と所得税

私たちが所得に応じて納める主な税金には、村県民税と所得税があります。

村県民税は、名前のとおり村と県に納める税金です。地域社会の会費として、多くの住民で負担を分かち合うという意味から「住民税」とも呼ばれます。一方、所得税は国に納める税金。職場での年末調整や確定申告書で所得税額を計算し税務署に納付します。

■村県民税の申告

村県民税の申告は、毎年1月1日現在の住所地の市町村に行います。申告によって計

算した所得額などは、▼国民健康保険税▼介護保険料▼後期高齢者医療保険料▼村営住宅使用料などの計算や軽減の基礎数値になります。

そのため、申告を忘れると金額や軽減額が正しく計算できない他、所得証明書や納税証明書などが発行できない場合もあります。

村は2月上旬、前年度の申告状況や課税資料を基に、申告書の提出が必要と思われる人に平成24年度用の申告書を配布します(世帯主あて)。

今年の納税申告相談は2月14日から3月15日まで(5日)のとおりに。村内各地区を巡回して納税や申告の相談を受

け付けます。3月8日から15日(土日を除く)までは役場で受け付けます。この期間は混雑が予想されますので、なるべく地区巡回のときに相談してください。

■申告の必要な人

次の①、②に該当する人を除き、村県民税の申告書を提出しなければなりません。

- ① 23年中の所得が給与収入だけで、年末調整が済んでいる人
- ② 23年分の所得税の確定申告書を提出した人
給与所得者で職場から源泉徴収票をもらっている人でも、年末調整が済んでいない人、給与以外に漁業、農業、不動産、土地の譲渡による収入などがある人は申告が必要です。また、年末調整が済んでいる人でも各種控除を受ける場合は申告が必要になります。
- 収入が年金収入のみと思われる人には申告書を配布しませんので、申告の必要はありません。ただし、申告書が配

■申告に必要な物

- ① 村県民税申告書または所得税確定申告書
- ② 印鑑
- ③ 自営業者は1年間の収支を記入した所得内訳書と関係する伝票、領収書、証明書など(収支内訳書に記入した場合は必要ありません)
- ④ 給与所得者や年金受給者は源泉徴収票
- ⑤ 社会保険料、国民年金保険料、生命保険料、地震保険料などの支払証明書
- ⑥ 医療費控除を受ける人は領収書
- ⑦ 所得税の還付を受ける場合は預貯金通帳などの口座番号を確認できる物(本人名義の口座に限ります)

■申告の注意点

所得税の還付申告には、源泉徴収票が必要です。紛失した人は、事業所から再発行を受けてください。

農業や漁業など自営業者の所得は「収支内訳書」で計算します。自分で記入することを心掛けましょう。記入の仕方が分からない場合は、収支の分かる資料を必ず持参してください。

朝一番での受け付けは混雑するため、待ち時間が長くなる場合があります。

やむを得ず他の地区での受け付けを希望する人は、あらかじめ税務課に連絡してください。

■村県民税非課税の人

- ① 生活保護法の規定による扶助を受けている人
- ② 障がい者、未成年者、寡婦または寡夫で、23年中の所得が125万円以下の人
- ③ 23年中の所得が、28万円×(扶養人数+1)+16万8千

■村県民税の納付方法

村県民税は、所得の発生した翌年度に課税します。納付方法には、▼給与特別徴収▼年金特別徴収▼普通徴収の3種類があります。

給与特別徴収はサラリーマンなどが対象で、勤務先の毎月の給料から天引きして納めます。年金特別徴収は、年金所得などにかかる課税額を国や共済組合などの年金支払者が、個人の年金から差し引いて納めます。

普通徴収は自営業者など特別徴収以外の人が対象で、年4回に分けて納税組合や金融機関で納付。普通徴収の人は口座振替が便利です。利用してください。

私たちが納める税金は、つくりのための大切な会費。申告に向け、必要書類の準備を進めましょう。

◆問い合わせ先：税務課 ☎ 34-2112 内線31

■納税申告相談の日程

月日	対象地区	場所	受付時間
2月14日(火)	田野畑	役場村民談話室	9:00~16:00
15日(水)	北山	地区総合センター	9:00~11:30
	机	拓心館	13:30~16:00
16日(木)	羅賀	田野畑駅	9:00~16:00
17日(金)	島越	旧島越児童館	9:00~16:00
20日(月)	和野、西和野、菅窪	アズビィホール	9:00~16:00
21日(火)	和野、西和野、菅窪	アズビィホール	9:00~16:00
22日(水)	高校仮設団地	アズビィホール	9:00~16:00
23日(木)	中学校仮設団地	アズビィホール	9:00~16:00
24日(金)	アズビィ仮設団地	アズビィホール	9:00~16:00
27日(月)	巢合	地区公民館	9:00~11:30
	尾肝要	地区公民館	13:30~16:00
28日(火)	板橋	地区公民館	9:00~10:00
	池名	地区公民館	13:30~15:00
29日(水)	浜岩泉	地区公民館	9:00~11:30
	大芦	大芦集会所	13:30~16:00
3月1日(木)	萩牛	地区公民館	9:00~9:30
	千丈	地区公民館	10:00~11:30
2日(金)	田代	地区公民館	13:30~16:00
	七滝	創心館	9:00~11:30
5日(月)	沼袋	青雲館	13:30~16:00
	切牛	望洋館	9:00~11:30
6日(火)	真木沢	地区公民館	13:30~16:00
	甲地	地区公民館	9:00~11:30
7日(水)	猿山	地区集会所	13:30~16:00
	明戸	地区公民館	9:00~16:00

※3月8日~15日(土日を除く)の6日間は、役場村民談話室で受け付けます。受付時間は午前9時~11時30分、午後1時~4時です。ただし、15日の午後は3時までの受け付けとします

東日本大震災関連の控除や還付を受けることができます

■大震災で被災した人

大震災で、住宅、家財、車に損害が生じた場合、税の控除や還付を受けることができます。控除しきれない場合は、最大で5年間繰り越すことができます。

住宅ローン控除を適用している人は、津波による全壊などで住家が使用できなくなっても引き続き控除を受けることができます。さらに、住宅を再取得した場合の住宅ローンも重複して適用できます。

■大震災に対する寄付金控除

大震災に関連する寄付(義援金や復興基金など)は、税の控除や還付の対象です。領収書などを準備して申告してください。寄付金が2,000円を超える場合、超えた分のおおむね全額が所得税と住民税の控除対象になります。



一青窈さん(左から4人目)らドラマ出演者の皆さん

田 野畑を舞台にドラマの撮影

東日本大震災後の被災地を描くNHKドラマ「それからの海」の撮影が村内で行われました。ドラマの原案は吉村昭さんの小説「漁火」。津波で母親を亡くした中学1年生の少女・一香、祖父の朝夫、父の喜一を中心に、被災地の現状を交えながら心の交流を描いています。撮影は1月上旬から始まり、村の皆さんもエキストラとして多数出演。ぜひご覧ください。

◆放送日時…3月3日(土) 総合
午後7時30分～午後8時43分

中 学生が文化祭の売上を寄付

田野畑中(佐々木幸彦校長、生徒122人)から12月27日、村復興基金への寄付金が届きました。生徒を代表して村長室を訪れたのは、大澤智帆美さんと道下晴佳さん(共に3年)。「村の復興に役立ててください」と上机莞治村長に寄付金を手渡しました。この寄付金は、10月に同校文化祭で行ったバザーなどの売上金。上机村長は「皆さんの思いがたくさん詰まったお金。大切に使います。皆さんも復興のお手伝いをお願いします」と感謝を話しました。



「復興に役立ててください」と大澤さん④と道下さん⑤

体 験村が交流文化賞で最優秀

第7回JTB交流文化賞の表彰式が1月19日、東京都で行われ、体験村・たのはたネットワーク(道合勇一理事長)が最優秀賞を受賞しました。この賞は、地域の魅力を創出し、地域活性化に取り組んでいる団体などに贈られるものです。道合理事長は「津波ガイドは、津波の犠牲者を二度と出さなくという気持ちで活動している。今後は内陸の体験も充実させて、お客様に喜んでもらえるプログラム作りをしたい」とさらなる意気込みを話していました。



津波ガイドは防災教育を取り入れた体験として注目されている

漁 協初売り仮設市場沸き立つ

村漁業協同組合の平成24年初売りは1月4日、島越の魚市場で行われました。早朝の市場には、サケやタコなどが次々と水揚げ。漁協の職員は選別作業などに追われていました。昨年12月末には仮設市場も完成。復旧工事中の製氷施設は、3月の完成を目指して作業が進められています。中村芳正組合長代行は「支援を受け仮設市場が完成した。ここが魚であふれるように生産活動をし、漁業を守り発展させていこう」と新年のあいさつをしました。



タコやサケの水揚げと選別作業で活気付く島越漁港



沼袋地区の普代川で清めの水をかぶる田野畑隊

水への感謝と復興の願い込め

龍泉洞みずまつり田野畑隊(菊地大代表)の16人は1月8日、三沢地区の原水をくみ、沼袋地区の農村環境改善センターまでの約6キロを水に感謝しながら走りました。農村環境改善センター前の普代川では、水への感謝の句を唱和。清めの水をかぶると、見物に訪れた地域住民から温かい拍手が送られました。その後、田野畑隊のメンバーは羅賀地区に移動。ホテル羅賀荘前の漁港で大震災犠牲者の冥福と復興の願いを込めて黙とうをささげました。

ミ ズキ団子を祖父母と一緒に

たのはた児童館(中里民子館長、園児44人)の祖父母参観が1月19日に行われ、園児と祖父母などがミズキ団子づくりに挑戦しました。子どもたちは、赤、黄、緑に色付けされた小麦粉に「きれーい」と歓声。おじいちゃんおばあちゃんに教わりながら一つ一つ丁寧に丸めていました。出来上がった団子はミズキに付け、ホールに飾られました。熊谷綾子さん(78)=沼袋=「ひ孫と一緒に作ることができてとても楽しかった」と笑顔を見せていました。



祖父母に教わりながら、楽しくミズキ団子作り

お知らせ

人口と世帯		火災	
1月1日現在()は前月比		(12月22日～1月20日)	
人口	3,875人(+ 4)	火災の【今月】	1件
男	1,903人(+ 2)	発生件数【今年】	1件
女	1,972人(+ 2)	無火災の連続記録	
世帯	1,439世帯(- 1)	(1月20日現在)	14日

公社で臨時職員を募集中

- ◆募集職種…物産販売・1人
- ◆応募資格…普通自動車運転免許を有する人
- ◆給与など…当社規定による
- ◆加入保険…雇用、労災、健康、厚生
- ◆勤務時間…午前8時30分～午後5時30分
- ◆応募期限…2月10日(金)
※応募状況により期限前でも締め切る場合があります
- ◆応募方法…履歴書(写真付き)を提出してください(郵送可)。後日、面接の日時などをお知らせします
- ◆応募・問い合わせ先…(株)田野畑村産業開発公社(〒028-8401 田野畑村尾肝要39-1 ☎34-2080)

農振除外申し出を受け付け

農地に住宅を建築する場合、農振除外申し出(農用地区域から除外する手続き)と、農地転用許可の必要があります。申し出から許可までをスムーズに行うため、2月29日を期限に申し出の受け付けを行います。今回は、▶住宅設計図面や資金計画があり住宅建築が確実▶緊急性がある一に限ります。審査などの手続き後、6月下旬に転用許可の予定です。農地への住宅建築を予定している人は、事前に産業振興課に連絡してください。受付期限後の申し出もできませんが、その場合の転用許可は10月以降になる見込みですので注意してください。

- ◆受付期限…2月29日(水)
- ◆問い合わせ先…産業振興課(☎34-2111 内線45)

地デジ難視聴地区を訪問

地理的な条件などにより個別受信アンテナで地上デジタル放送を受信できない地域に住んでいる人には、下記のような国の支援があります。難視聴地区に指定されている家庭には、国から委託を受けた業者が訪問して申請を受け付けますので、忘れずに申し込んでください。難視聴地区の確認は政策推進課にお問い合わせください。

- ◆暫定的な衛星放送利用
暫定的に衛星放送を利用して地デジ放送を視聴。BSチューナーの貸し出しやBSアンテナの設置工事を無償で行います(業者：地デジ難視対策衛星放送受信設備整備支援センター)
- ◆高性能アンテナ対策
受信点の調査や高性能等受信アンテナ対策に要した経費の一部に対して助成します(業者：岩手県地上デジタル放送推進協議会)
- ◆問い合わせ先…政策推進課(☎34-2111 内線63)

村営工事の入札には申請を

平成24年度の村営建設工事に関する指名競争入札および建設関連業務指名競争入札に参加するためには、申請が必要です。詳しくは村ホームページを確認するか、地域整備課に問い合わせてください。

- ◆受付期限…2月29日(水)
- ◆申請・問い合わせ先…地域整備課(〒028-8407 田野畑村 田野畑143-1 ☎34-2113 内線51)

森林取得したら届け出を

森林法が改正され、今年4月以降に森林の所有者になった人(個人、法人を問わず)は、面積に関わらず村長への届け出が義務付けられました。

- ◆対象者…売買や相続などで森林の土地を取得した人
- ◆届け出期間…土地取得から90日以内。必要書類は産業振興課に問い合わせてください
- ◆届け出・問い合わせ先…産業振興課(☎34-2111 内線43)

若桐保育園で園児を募集

若桐保育園では、平成24年度の入園児を募集しています。

- ◆対象児童…保育に欠ける満5カ月以上の未就学児
- ◆開園日…月～土曜日(ただし、祝日、年末年始を除く)
- ◆保育時間…午前7時30分～午後6時30分
- ◆応募期限…2月29日(水) 必着
- ◆応募・問い合わせ先…若桐保育園(☎37-3577)

人間ドックに助成金を交付

- ◆対象…40～74歳で人間ドックを受診した人(全医療機関)
- ◆助成額…課税状況により1万～2万円(3年に1回の助成)
- ◆申請方法…検診結果の写しに領収書または受診証明書を添えて、保健福祉課に申請
- ◆開始日…平成23年8月1日(月)以降の受診分から
- ◆問い合わせ先…保健福祉課(☎33-3102)

地デジ化は3月31日
テレビの完全地上デジタル放送への以降が迫ってきました。早めの対策を心掛けましょう。
◆問い合わせ先…政策推進課(☎34-2111 内線63)

地デジチューナーを無償給付

- ◆対象
①村民税非課税世帯
②NHK受信料全額免除世帯
- ◆支援内容
①チューナーの無償給付
②チューナーの無償給付、申し出によりチューナーの設置・操作説明や必要によりアンテナなどの改修
- ◆申込期限…3月31日(土)
- ◆申し込み・問い合わせ先…政策推進課(☎34-2111 内線63)

国民年金の免除は申請を

大震災で住宅、家財、その他の財産についておおむね2分の1以上の損害を受けた人は、本人からの申し出によって国民年金保険料が全額免除になります。免除になる対象者や詳細、申請手続きについては、生活環境課または宮古年金事務所に問い合わせてください。

- ◆申請期限…3月30日(金)
- ◆申請に必要なもの…印鑑
- ◆申請・問い合わせ先…生活環境課(☎34-2114 内線23)、宮古年金事務所(☎0193-62-1963)

就職面接会を開催します

- ◆日時…2月9日(水)
午後1時30分～4時
- ◆場所…宮古市民総合体育館
- ◆参加企業…宮古公共職業安定所管内に事業所などを有する企業
- ◆内容…参加企業との個別相談、就職相談など
- ◆問い合わせ先…宮古公共職業安定所内(☎0193-63-8609)

警察署で少年補導職員募集

岩泉警察署では、少年補導職員(非常勤)を募集します。

- ◆募集人数…1人
- ◆採用予定日…4月1日(日)
- ◆勤務場所…岩泉警察署
- ◆勤務内容…街頭での少年補導活動、警察事務
- ◆勤務条件…週5日(土日祝日は休み)
- ◆任用期間…1年(更新する場合もあります)
- ◆応募期限…2月6日(月)
- ◆採用試験日…2月中旬の予定
- ◆応募・問い合わせ先…岩泉警察署警務課(☎31-0110)

3月11日に追悼式を開催

3月11日、「東日本大震災一周年田野畑村追悼式」を開催します。時間や場所は、広報たのはた3月号でお知らせします。

- ◆問い合わせ先…復興対策室(☎34-2111 内線67)

広報に求人情報を載せませんか

広報たのはたに、村内企業などの求人情報を掲載しませんか。掲載を希望する場合は、政策推進課に連絡してください。

- ◆締切日…①1日号：前月15日
②お知らせ版：当月8日
- ◆掲載料…無料
- ◆申し込み・問い合わせ先…政策推進課(☎34-2111 内線62)

岩手県内に就職しませんか

働ふるさといわて定住財団では、U・Iターンを希望する社会人や県内就職を目指す学生を対象に就職面接会を開催します。

- ◆日時…2月19日(日)
午後1時～4時
- ◆場所…中野サンプラザ8階(東京都中野区中野4-1-1)
- ◆参加企業…岩手県内に事業所を有する企業 約20社
- ◆内容…参加企業との個別面談、職業相談、地域生活情報など
- ◆問い合わせ先…働ふるさといわて定住財団(☎019-653-8976)

福祉なんでも巡回相談開催

大震災の被災者を対象に、福祉全般の相談を無料で受け付ける巡回相談を開催します。

- ◆期日…2月16日(木)
- ◆時間・場所…午前10時～正午・高校団地集会所、午後1時～3時・中学校団地集会所
- ◆問い合わせ先…宮古保健福祉環境センター福祉部(☎0193-64-2213)

広報クイズ

問題の答えをはがきを書いて、役場政策推進課（2月20日まで）にお送りください。正解者の中から抽選で5名様にプレゼントが当たります。

Q1 教育フォーラムで表彰された「田野畑クラブ」。何のスポーツで活躍？
A) バレーボール
B) 軟式野球

Q2 2月14日から始まる納税申告相談の受け付けはいつまで？
A) 3月7日
B) 3月15日

Q3 1月19日に体験村・たのはたが受賞したのはJTB文化交流賞の何賞？
A) 最優秀賞
B) 特別賞

■前号(12月号)の正解
Q1→B、Q2→A、Q3→B
■当選者(敬称略)
上山明美(田野畑)、楸形タヨ(田野畑)、畠山力治(真木沢)、中村志会之助(埼玉県)、佐藤祥子(神奈川県)

「田野畑むらづくり基金」への寄付状況

1880万7,449円 (1月20日現在)

359件(村内85件、県内116件、県外158件)

「田野畑むらづくり基金」の申し込み・問い合わせは、村ホームページをご覧ください。総務課(☎34-2111 内線15)までご連絡ください。

役立ちカレンダー

期間：2月5日(日)～3月3日(土)

月日	行事	場所	時間	問い合わせ先
2月5日(日)	村民ソフトバレーボール交流大会	アズビィ体育館	8:45～13:00	教育委員会
11日(土)	講演会「津波とその被害の特性」	アズビィホール	15:00～16:30	復興対策室(内線67)
23日(木)	巡回児童相談	保健センター	10:00～15:00	保健福祉課
29日(水)	固定資産税4期・国保税8期納期限			税務課(内線31・32)
	後期高齢者医療保険料8期納期限			生活環境課(内線21)
3月3日(土)	岩泉高田野畑校卒業式	田野畑校体育館	10:00～11:30	岩泉高田野畑校(☎34-2050)
	岩泉高田野畑校閉校式典	田野畑校体育館	14:00～15:00	岩泉高田野畑校(☎34-2050)

役場☎34-2111 / 教育委員会☎34-2226 / 診療所☎33-3101 / 保健福祉課☎33-3102

おめでた おくやみ

[平成23年12月届け出分]
(一部敬称略)

●生まれた赤ちゃん
工藤 洗一郎(こういちろう)くん
光昭・杏子 真木沢
三浦 綺音(あやね)ちゃん
昌樹・歩子 島越
三浦 徠駆(らいく)くん
祥太・千明 羅賀
上机 徠琉(らいる)くん
徹・美香 西和野

■ご冥福をお祈りいたします
熊谷 ワサ(96) 沼袋
中嶋 ミイ子(82) 羅賀
田野畑 嘉隆(71) 羅賀

※この欄に掲載してほしくない人は、届け出のとき、戸籍係の窓口へ申し出てください

はまなす号巡回カレンダー

期間：2月15日(水)～16日(木)

◆はまぎくコース(机・北山方面)

月日	場所	時間
2月15日(水)	グループホームつくえ付近	9:40～10:00
	北山地区総合センター	10:10～10:25

◆たんぼぼコース(真木沢・切牛方面)

月日	場所	時間
2月15日(水)	佐藤進氏宅付近	11:05～11:20
	望洋館	11:30～11:45

◆おきなぐさコース(沼袋・甲地方面)

月日	場所	時間
2月16日(木)	産直プラザ尾肝要	9:45～10:00
	山栄会リアス倶楽部付近	10:10～10:40
	甲地公民館	10:50～11:05

本の特別貸出を行います

アズビィ学習センター図書室は、2月1日(水)から14日(水)まで、「岩手の読書週間」に合わせて本の貸出冊数を10冊までに増刷します。この機会に、ぜひ利用してください。

◆開室時間…午前8時30分～午後5時30分

◆問い合わせ先…教育委員会(☎34-2226)

はまなす 掲示板

教育振興運動の成果を確認

教育フォーラムに140人

平成23年度「教育フォーラム in たのはた」が1月22日、アズビィホールで開催されました。PTA会員や学校教職員など約140人が出席。教育振興運動の成果を確認しました。昭和40年に始まった運動は、47年目を迎えました。開会にあたり村教育振興運動推進協議会の熊谷隆幸会長は「大震災の影響で、活動が難しい地区もあった。教育振興は子どもたちの心を育てる活動。今こそ皆さんの心をつなげて、子どもの心を育てよう」とあいさつ。

表彰式では、多年にわたり教育振興運動に功績のあった皆さんに功労賞、榮譽賞を贈呈。功労賞を受賞した田野畑校PTAの佐藤和博会長は「これまで田野畑校に携わった全ての人に感謝します」と喜びを話していました。

講演会では、県教育委員会の佐藤敦士さんが「いろいろな人がいて成り立つのが社会。行動することや柔軟な考えを持ちましょう」と、教育振興運動に大切な心構えを訴えました。

■平成22年度教育振興運動表彰受賞者の皆さん



工藤 藤雄さん
島越・82歳

【功労賞・個人】

島越地区推進委員会が毎年行っているウニ採りと新巻きザケづくり体験活動で、10年間にわたり指導者を務める。地域の産業や食文化などを学ばせ、郷土に愛着と誇りを感じることができる児童生徒の育成に大きく貢献している。



田野畑校PTAが本年度の活動や同校の歩みを発表



菊池 裕彦さん
沼袋・45歳

【功労賞・個人】

平成11年度から旧沼袋小の研修・厚生・指導部長を歴任。20年度からはPTA会長を務めるなど、長年にわたり児童、PTA育成の先頭に立って活動。現在は、沼袋地域の教育振興運動の推進に尽力している。

【功労賞・個人】

18年度から田野畑中の役員を歴任。20～22年度は同校PTA会長を務めるとともに、村PTA連合会副会長に就任。生徒の健全育成や家庭・学校・地域の連携に尽力した。村全体のPTA活動の充実・発展に大きな貢献をした。



佐々木 靖さん
切牛・50歳



田野畑クラブ
(田野畑中野球部)

【榮譽賞・団体】

岩手県少年軟式野球新人大会で優勝、全日本少年春季軟式野球大会東北Cブロック予選で準優勝を飾るなど、各種大会で顕著な成績を残した。

【功労賞・団体】

(写真は佐藤和博PTA会長)
24年3月に閉校する岩泉高田野畑校。地域と共に歩んできた63年間の歴史に幕を下ろす。同校PTAは、昭和41年の設立以来今日まで、45年間にわたって学校と協力・連携して同校の教育環境の向上に貢献してきた。



岩泉高校
田野畑校PTA

平成23年度一般会計補正予算
11億4096万8千円を追加
予算総額84億1352万3千円に

平成23年第12回村議会定例会を12月14、15日の2日間の会期で開催しました。一般質問は定例会初日に行い、佐々木芳利議員、中村勝明議員、菊地大議員、宮森鋭幸議員の4人が一般質問、翌15日は、村長から提出された議案6件、同意案3件、選挙1件を審議し、原案どおり可決しました。また、議員全員による東日本大震災復興対策特別委員会を設置し閉会しました。

※村議会だよりは広報編集委員会（委員長・工藤求議員）で編集したものです

- 一般会計補正予算（第11号）
内容 11億4096万8千円を追加し、総額84億1352万3千円とするもの。主なものは次のとおり。
▽岩手県市町村総合事務組合負担金
・1188万8千円追加
▽思惟の森交流基金積立金
・577万9千円計上
▽常用小型除雪機2台およびミニローダ2台購入
・820万9千円計上
▽村議会議員選挙費
・489万円減額
▽農業委員会委員選挙費
・319万7千円減額
▽災害等廃棄物処理業務委託料
・3億6200万円追加
▽いわて未来農業確立総合支援事業補助金
・622万3千円追加
▽水産業共同利用施設復旧支援事業補助金
・976万6千円追加
▽水産経営基盤復旧支援事業補助金
・665万2千円減額
▽除雪業務委託料
・2000万円追加
▽道路空間等環境整備事業委託料
・320万円追加
▽村道菅窪和野線改良舗装事業
・1000万円追加
▽岩泉高等学校校田野畑校閉校事業実行委員会補助金
・50万円計上
▽小学校太陽光発電設備設置工事
・3000万円計上
▽中学校太陽光発電設備設置工事
・3000万円計上
▽公共土木施設等災害復旧工事（現年災）
・1億1400万円追加
▽漁港施設災害復旧工事（現年災）
・6億2390万円追加
●国民健康保険特別会計（第3号）
内容（事業勘定）6451万5千円を追加し、総額6億729万8千円とするもの。主なものは次のとおり。
▽一般被保険者療養給付費
・4167万1千円追加
▽退職被保険者等療養給付費
・300万円追加
▽療養給付費等負担金返還金
・1889万3千円追加
内容（診療施設勘定）488万7千円を追加し、総額1億5342万7千円とするもの。主なものは次のとおり。
▽医科 医薬材料費
・600万円追加
▽歯科 歯科技工士委託料
・128万円追加
●介護保険特別会計（第3号）
内容（保健事業勘定）150万円を減額し、総額4億9439万3千円とするもの。主なものは次のとおり。
▽通所型介護予防事業委託料
・150万円減額

議決した議案等

- 【議案第1号】
●思惟の森交流基金条例
・第17回日韓国際環境賞の賞金を原資とし、田野畑村と早稲田大学の交流事業および思惟の森の造成に要する経費の財源に充てる思惟の森交流基金を創設するもの。
- 【議案第2号】
●田野畑村農用地整備事業負担金徴収条例の一部を改正する条例
・下閉伊北区域農用地整備事業の実施主体が緑資源公団から独立行政法人森林総合研究所に承継されたことに伴う所要の改正。
- 【議案第3号】
●一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
・岩手県の例に準じて一般職の職員の給料表についての改正。
- 【同意案第1号】
●教育委員会委員の任命に関し同意を求めることについて
・現委員の小野恵美子氏（菅窪）が平成23年12月19日任期満了となることから、同氏の任命に同意。
- 【同意案第2号および第3号】
●固定資産評価審査委員会委員の選任に関し同意を求めることについて

●選挙管理委員会委員および同補充員の選挙
・現委員の畠山守氏（菅窪）が平成23年12月21日任期満了となることから、同氏の再選に同意。大澤禮典氏（羅賀）が同日任期満了となることから、戸由孝子氏（羅賀）の選任に同意。

●委員および補充員の任期が平成23年12月25日に任期満了となることから、選挙を行い次の方々が委員に当選。
なお12月26日に開催された選挙管理委員会委員選出、委員長職務代理者の選挙が行われ、委員長に畠山守氏、委員長職務代理者に嘉藤正義氏が就任。



委員長職務代理者
嘉藤 正義 氏
巢合



委員長
畠山 守 氏
菅窪



委員
八重樫 由美子 氏
真木沢



委員
向井 利信 氏
机

●補充員
根木地 俊機氏（菅窪）
佐々木 太氏（切牛）
下田 五利氏（島越）
熊谷 裕美子氏（羅賀）

【東日本大震災復興対策特別委員会】を議員発議で設置。
・東日本大震災の大津波により、公共施設などが甚大な被害を受けたことに伴い、全議員構成による東日本大震災復興対策特別委員会を設置。委員長に佐々木功夫議員、副委員長に中村芳正議員を選任し、復興の対応策などを検討することとした。

一般質問



議員
佐々木 芳利 氏

〈質問〉 冬の季節を迎え、被災世帯に対する暖房器具の配分状況を伺いたい。

〈村長〉 暖房器具については当初入居時において石油ストーブを既に配布しており、仮設住宅には付帯設備の設置ということで、入居者から暖房器具の希望を取り、石油ファンヒーターが85台、ホットカーペット38台、電気こたつ63台の合わせて186台を11月29日までに全戸へ配布を終了したところである。なお、民間借り上げ住宅には、民間の団体などから石油ファンヒーターを寄贈いただくことになっているので、その寄贈いただいた後に配布したいと考えている。

〈質問〉 春から秋においては、多くの就労の場が提供され、また漁業の一部再開もあったが、依然として就労の場を求めている方が多



ゆきほ
畠山 倅歩ちゃん（1歳6カ月）
 父・裕晃さん、母・朋生さん＝羅賀＝

お母さんからのひとこと

きかん坊だけど、ちょっと恥ずかしがり屋。絵本が大好きで、いつも1人で見ています。このまま健康で、思いやりのある子になってね。



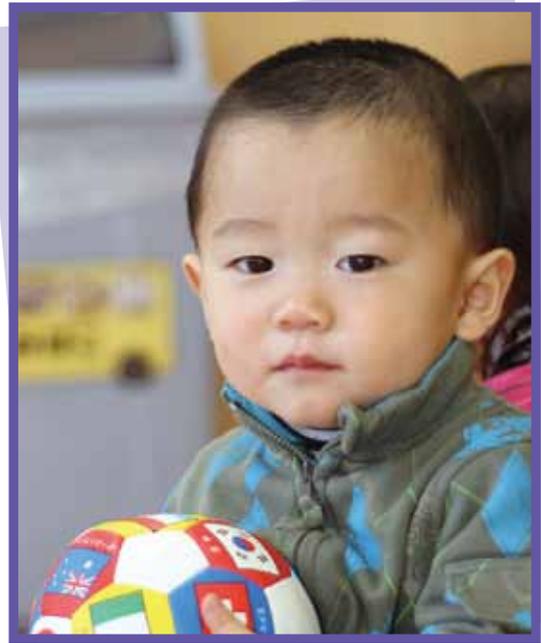
わが家の
 アイドル



たいせい
畠山 泰成くん（1歳6カ月）
 父・裕晃さん、母・朋生さん＝羅賀＝

お母さんからのひとこと

お父さんに似たのか野球が大好き。いつもグローブをはめてボール遊びをしています。でも、とてもおっとりな子。たくましく健康に育ってね。



編集ごぼれ話

いつも取材にご協力くださる皆さん、広報を読んでいただいている皆さん、今月も無事に発行することができました。本当にいつもありがとうございます。本当にいつもありがとうございます。1月13日に開かれた本年度の県市町村広報コンクール審査会。審査の結果本紙5月号が広報紙の部、同24ページが一枚写真の部、同12と13ページが組み写真の部でそれぞれ第3位に入賞しました。これは、いつもご協力くださる皆さんあってこそが入賞です。本当にありがとうございます。あらためまして感謝感謝です。▼入賞にはきつと「もっと頑張れ」という意味が含まれていると思います。今後皆さんに親しまれる広報編集に取り組みたいと思いますので、引き続きご協力をお願いします。▼周辺市町村ではインフルエンザ感染が始まっているようです。この季節は空気が乾燥し、まだまだこれから流行が心配されます。うがい、手洗い、マスクなどで予防を万全にしましょう。（政策推進課 佐々木和也）